

住み慣れた地域で最期まで

～地域包括ケアの実現に向けた在宅医療・介護連携
多職種連携の今 そしてこれから

在宅医療介護連携フォーラム



申し込みQR
コード

令和8年2月28日(土)

開演 13:30~16:30 (受付 13:00~)

場所 熊本学園大学 新1号館2階121号教室

参加費無料

—プログラム—

1 基調講演 「急変と急変時の対応について

—考えた「つもり」になっていませんか?—

講師：国立病院機構熊本医療センター 救命救急科部長 櫻井 聖大 先生

2 シンポジウム 「在宅看取りの実践事例

～その人それぞれの最期の形～

パネリスト：三嶋 裕子 氏 (鶴友会訪問看護ステーション 管理者)

切通 悠貴 氏 (フォレスト熊本居宅介護支援事業所 主任 CM)

金田 貴也 氏 (フォレスト熊本訪問介護支援事業所 管理者)

看取りをされたご家族

コーディネーター：黒木 邦弘 氏 (熊本学園大学社会福祉学部 教授)

3 もしバナカードをしてみよう

「余命半年・・・その時あなたは何を大事にしますか?」

進行：もしバナマイスター 川崎 幸栄子 氏

(熊本県看護協会 訪問看護総合支援センター 専門官 (訪問看護認定看護師))

4 講評

おびやま在宅クリニック 院長 宮崎 久義 先生